

みなさんこんにちは。そして、あけましておめでとうございます。

時の流れは早いもので、あと5カ月で帰国です。「もう半分しかない」と思うか、「まだ半分もある」と思うかは人それぞれだと思いますが、私は焦っているときのほうがパフォーマンスがいいので、残りの時間が少ないと思って生活していこうと考えています。一年前の私は、自分が留学することへの実感もなく、のんびりと日本のお正月を堪能していました。帰国の際に「気づいたら日本にいる！」なんてことにならないよう、今一度、自分がなぜアメリカにいるのかを考えてみたいと思います。さて、今月は12月を中心に、この5カ月間の振り返りを書きます。

12月はとても忙しい月でした。中盤までは学期末の課題や試験に追われ、「どうせもう冬休みだし」と思いながら、夜遅くまで勉強する日が続きました。試験最終日には、1学期を終えた達成感と同時に、勉強に力を入れすぎてしまったという後悔の気持ちもありました。もちろん、留学生として維持しなければならない成績はありますが、それを最低限守れていれば、友だちとの時間をもっと大切にすればよかったと感じています。両立できれば理想ですが、私はそこまで器用ではないので、新学期は遊ぶ時間にもっと目を向けていこうと思います。家では、ホストファミリー、特に子どもたちともっと遊びたいです。課題に追われてあまり時間が取れなかった時期に、ホストブラザーとほんの少し遊んだだけで、「今日一番楽しかったのは一緒に遊んだことだよ」と言ってくれました。私は子どもと遊ぶことに慣れておらず、同じくらいの年齢の子と遊んだ方が楽しいのではないかと思い、遠慮していた部分もあったので、とても嬉しかったです。

学校が終わると、一気にクリスマスムードが高まりました。どの家もたくさんのライトをつけ、夜になると街全体がイルミネーションのようになります。屋根や庭に飾られたサンタクロースやトナカイ、プレゼント、雪だるまの風船も印象的でした。また、GrinchやHome Alone、The Polar Expressなど、アメリカならではのクリスマスキャラクターや映画を目にする機会も増えました。これまでの私にとってのクリスマスは、イブの夜にご馳走とケーキを食べ、朝起きるとプレゼントがあるという、とても楽しいイベントでした。しかし、アメリカでクリスマスを過ごす中で、それが宗教的な行事で

あることを強く実感しました。当たり前だと思っていたケーキを食べる習慣がなかったり、クリスマスツリーやオーナメント一つひとつに意味があったりと、多くの発見がありました。日本では、特定の宗教に限らず、さまざまな宗教の行事を取り入れているため、お祝い事の多様性がある点が長所だと思います。一方で、多くの行事が日本独自の形に変化しています。もちろん、国ごとに伝統は異なり、どちらが優れているという話ではありません。ただ、本来のお祝いの仕方や歴史、意味を知ることが、宗教行事として大切にしている人たちへの敬意につながるのだと感じました。

留学を通して私が学んだのは、多くの人のおかげで今の生活が成り立っているということです。留学する実感がなかったのは、自分から積極的に行動してこなかったからだと思います。留学を決めたのは自分ですが、その後の申し込みや試験では白鷗の先生方や両親に支えていただきました。合格後も、必要書類を両親と一緒に準備し、留学先やホストファミリー、ホストスクールについては次世代リーダー育成道場に関わる方々に決めていただきました。ビザの申請も、「今すぐ始めなさい」と親に言われてようやく取りかかったほどで、自分がいかに他人任せだったかを実感しました。留学が始まってからは、日本にいる家族や友達、そして同じように頑張っている留学生たちの存在が、私の大きなモチベーションになっています。どんなに大変なことがあっても、「ここ以外にも自分の居場所がある」「同じ経験をしている仲間がいる」と思えることで、前向きな気持ちになれます。

留学期間の半分が過ぎ、さまざまなスキルが向上し、自分を見つめ直すきっかけを得ることができました。残りの半分で、私は何を学び、どこまで成長できるのか。すべては自分次第です。二度とないこの貴重な経験を、最後まで存分に楽しんでいきたいと思っています。

いつもより長くなりましたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。英語では、クリスマスとお正月に何をしたかについて、より詳しく書いていこうと思います。それでは、よい一日を。

Happy New Year, everyone! What is winter like in Japan? It's getting colder here, but it's still warmer than in Tokyo. The temperature difference between morning/evening and daytime is hard for me. I wear warm clothes to school because I don't want to be cold. Then, around noon, I'm surprised by how hot it gets. I told my family in Japan about that, and a few days later, I received a package. At first, I was confused because I hadn't ordered anything. But once I opened it, I was so happy! My mom sent me my winter jacket, homemade Christmas bread, and some treats. Everyone wrote me a letter. I don't get to call them often because of the rules, but I could feel how much they love me. By the end of this program, my goal is to be part of my host family like my actual family.

Christmas was a big event, bigger than I expected. New Year's wasn't that big. Before Christmas, I went to a Christmas market and a Nativity event every week. I had been to a Christmas market before, but I didn't know much about the Nativity, so it was a great opportunity. It was also cool because the place looked like it was thousands of years ago. Some stores were even from that time. During Christmas week, we had a lot of family dinners. Extended family gathered and had a party. I realized there's a tradition of exchanging gifts with neighbors. In Japan, there are New Year's cards called Nengajo; here in America, however, it was done for Thanksgiving or Christmas.

After Christmas, we had a few days of Christmas dinner and relaxation. Everyone was tired because we had a lot to do this month. On New Year's Eve, I decided to make a traditional Japanese noodle dish called Toshikoshi soba. I went to the Japanese grocery store that morning and bought the ingredients. We had dinner, played a board game, set off fireworks, made Toshikoshi soba, and had a dance party with neighbors. We made loud noises when the year changed. I always had a quiet New Year's in Japan, so I was surprised at how energetic this one was. I'm having so many irreplaceable experiences so far! See you next month! Have a great day!

